

【精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて】

1	退院後支援を行う中で日頃、課題として感じていることをご記入ください。
	<p>・精神科入院の場合、入院期間が3か月となる場合が多く退院直前に障害福祉サービスの相談を受けると、サービスの調整が行えない場合がある。</p> <p>・長期入院によりインフォーマルな支援を期待できない場合が多くある。そのため現行の障害福祉サービスでは本人のニーズをカバーできないことがあり、課題と感じている。</p> <p>・退院後支援を依頼されるケースのほとんどで、障害福祉サービス(就労系、ホームヘルパー、グループホーム等)の導入になる。障害福祉サービスの導入では、精神障がいに限らず時間帯や頻度に関して希望通りに支援に入ってもらえる事業所が少ないことが課題。</p>
2	貴院・貴施設において関係機関との連携の上で大切にしていることをご記入ください。
	<p>それぞれの機関の役割を理解した上で連携することを大切にしている。自分の事業所の役割ではないと、他の事業所へ押し付けることがないよう気を付けている。 細かな連絡をリアルタイムで行うようにしている。</p> <p>・細かな事でも連絡をマメにとることで、支援者お互いの信頼や安心になっていくと思う。</p> <p>支援は私でなければ成り立たないこと、1つのケースの支援だけでなく、その後も別ケースでつながる可能性があることを見据え、些細なことからも信頼関係をつくりあげていく視点が大切であると思う。</p>
3	お送りした資料を見ていただき、地域の精神保健福祉についてご意見等をお聞かせください。
	<p>・メンタルヘルスの問題は地域住民全体を対象とするものだと思う。精神障がい者のみならず地域住民全体を包括的にケアすることができれば、少しずつでも精神障がい者と健常者の垣根が取り払われていくと思う。</p> <p>このシステムを有効なものとして運用するには、中核的なコーディネーター役を担う職員の資源、配置数等が大切だと考える。</p> <p>・資料だけでは意見を出しにくい。全国や人口規模が同等の都市と比較できるとよい。</p> <p>・ここ10年程で、精神の方に対しての就労支援、それに伴う相談支援専門員の選定、精神科訪問看護の利用が大幅に増加したと思う。地域住民の理解にとっても、当事者が地域で利用できる資源が多いことが、地域生活が当然だと理解できる材料になる。上記以外の資源についても、既存資源について精神の方も新たに利用を可能にするなど柔軟にして、より拡充をしてほしい。</p>
施設名	福祉(基幹相談サテライト)